



岡山フルートの会会報

2012 年 6 月号 第 160 号

HP:<http://www.okayama-flute.net/>

E-mail:okayama-flute@mail.goo.ne.jp

そろそろ梅雨の季節に入ります。じめじめと湿気があり、楽器の手入れも怠れません。毎日蒸し暑いですが、晴れた日には散歩やジョギングなどの軽めの運動で汗をかいて身体を慣らしておく、夏の猛暑に耐えやすいそうです。

岡山フルートの会 2012 年度総会報告について

5 月 13 日(日) 長谷川楽器店 3 階ホールで 2012 年度の総会が開催されました。総会の議事録は、7 月号の会報に同封します。

演奏会案内

♪ デニス・ブリアコフ フルートリサイタル 2012

日時：6 月 17 日(日)14:00 開演(開場 13:30)

会場：ルネスホール

曲目：シャコンヌ/J.S. バッハ、「オベロン」による大幻想曲/ドゥメルスマン 他

入場料：一般/4,000 円(前売 3,500 円) 学生/2,000 円(前売 1,500 円)

出演：D. ブリアコフ(Fl)，蒲生祥子(Pf)

お問い合わせ：03-5389-5111(株式会社グローバル)

♪ セレーナ・コンサート Vol.7

日時：7 月 1 日(日)14:00 開演(開場 13:30)

会場：就実高等学校なでしこホール

曲目：「動物の謝肉祭」/サン=サーンス，魔法使いの弟子/デュカス 他

入場料：2,000 円(前売 1,500 円) 全席自由

お問い合わせ：090-8993-8543(安達さん)

星っさんコーナー (その 77)

「びわ湖国際フルートコンクール」を聴いて

顧問 星島明郎

第 17 回びわ湖国際フルートコンクールの本選(2012 年 5 月 6 日・滋賀県高島市ガリバーホール)を聴いてきました。

この日出場したのは、アドヴァンス部門(高校生以下、全参加者 62 名)、一般部門(全参加者 164 名)から予選を通過したアドヴァンス部門 10 名、一般部門 6 名でした。演奏された課題曲は、アドヴァンス部門はバートン作曲のソナチネとサンカン作曲のソナチネ、一般部門はモーツァルト作曲のフルート協奏曲第一番と第二番でした。いずれの部門も国際コンクールということで、韓国、中国、台湾などからの参加者もあり、大変レベルの高いものでした。高校生たちもほとんどが、それぞれお気に入りのステージドレスを着用し、一般部門と同様に大多数が暗譜での演奏でした。これからのコンクールはどのような難曲でも、ピアノや声楽同様に全て暗譜が常識となるでしょう。又本選に残るくらいの奏者は、ほとんどがいろいろなコンクールの常連ということでした。会場となったガリバーホールには、私も何度か学生達と共に聴きにきましたが、長方形の大変音響の良いホールで、フルートの演奏には最適、審査員泣かせの会場だと思いますが、私は一日気持よく聴かせて頂きました。個々の演奏については、紙面の都合で割愛しますが、表彰式での大友太郎審査委員長(国立音楽大学教授・洗足学園大学客員教授)の講評をまとめてみましたので今後の参考にしてください。

「今年は、アドヴァンス部門・一般部門共に大変ハイレベルであった。そして個性的プレーが多かった。それは、国内・国外楽器メーカーの努力もあって、フルートが素晴らしく進化して、鳴らし

易くなっていることもあるが、それにもかかわらず力み過ぎ、きばりすぎて、せっかくのフルートの持つ音色をつぶしてしまっている者がかなり多かった。発音を舌だけに頼らず、リラックスし、全身をコントロールして、身体でアーティキュレーションを感じて立体的な演奏をして欲しい。又、音の始めと終りのコントロールに気をつけよう。特にディミニユエンドは音程に気をつけるだけでなく、音の緊張感を保つために、音の消えるまで、支えをあきらめないようにしましょう。」そして最後に「音量も音程もテクニックも完璧でミスが全く無く、誰よりも目立つ演奏を目指すよりも、本当の意味の音楽を追求してほしい。演奏後、ガッツポーズする人もいる。コンクールで音楽と戦うことは止めてください。戦ってよいのは、自分自身の怠け心とライバルの失敗を願う嫉妬心だけです。技術を習得する時間には個人差があり、それゆえに自分のペースで日々努力することは勿論ですが、音楽を聴くこと、楽しむこと、深く研究することに重点をおいて日々練習に励んでください。」と結ばれました。大友先生の素晴らしい音楽観、人生観を聞いて、共感を覚えると共に、先生の穏やかなお人柄に心から拍手をおくりました。

フルートコンクールのみならず、あらゆるコンクールに言える事ですが、高度に加熱するあまり「喜び」「楽しさ」を忘れ、競争心だけが目的になることを恐れます。びわ湖国際フルートコンクール実行委員長の白石孝子さんも閉会の挨拶の中で、入賞者たちに対して話されました。「クラシック音楽の演奏レベルは年々高度になっているのに、それを聴きに來て下さる聴衆が少なくなっているのは本当に嘆かわしい。皆さん方は、今後リサイタルや各種演奏会を開かれる機会が多いでしょうが、自分の演奏したい曲、勉強した技術の高さを披露したい曲だけでなく、お客さんに心から楽しんでいただく曲も多く入れてほしい。その日の演奏を聴いて、又聴きたくなったという様な聴衆を増やしてほしい。」と話されていました。私もその通りだと思います。岡山フルートの会でも、そのようにありたいと思います。

ルミエールからのお知らせ

第2回練習

日時：7月8日(日)10:00～12:00

会場：東山公民館

ルミエール：フルートアンサンブルの楽しさを共有する社会人のグループ(大学生も大丈夫です)。

今までにルミエールで出演された方だけでなく、ルミエールに興味ある方や、上手く吹けないけれどアンサンブルをしてみたい方など、参加してみませんか。参加を希望される方はメールでご連絡ください(楽譜の準備が必要なため)。

藤澤桂子さん：fl-keiko@i.softbank.jp

演奏会情報&チラシの会報への同封について【重要】

演奏会情報は6月29日(金)までに西原明弘さん(会報係チーフ)に連絡してください。また、演奏会のチラシを会報封筒に同封・郵送(原則として奇数月のみ)を希望される場合は、A4版三つ折りにした状態で長谷川楽器店に持参してください。その際、必ず事前に会報係チーフに連絡し、会報発送数を確認してください。

西原明弘さん：badflute@gmail.com

チラシをホームページに掲載する方法について【重要】

演奏会のチラシを岡山フルートの会のホームページに掲載してほしい会員は、チラシを折らないでホームページ係チーフ(柴田さん)に郵送してください。なお、チラシをPDF化できる会員につきましては、以下のアドレスにファイルを添付してお送りください。

ホームページ掲載用チラシ送付先：柴田 聡さん

〒703-8282 岡山市中区平井 1126-52 okayama-flute@mail.goo.ne.jp

【会報の封筒詰めのお知らせ】

7月号の会報の封筒詰めを、7月3日(火)午後7時から長谷川楽器店3階ホールで行います。会員の皆さまには、ぜひ、封筒詰めのお手伝いをお願いします。